



過活動
膀胱

BPH合併OAB患者における
ベタニスの有用性



- POINT 1 排尿/排尿後症状は加齢とともに増加し男性の方が多し*
- POINT 2 BPH合併OAB患者に対するベタニスの実臨床エビデンス
- POINT 3 ベタニスは過活動膀胱診療ガイドライン推奨薬の一つ

5:34

MATCH Study(α1遮断薬との併用試験)

本動画では、前立腺肥大症を合併する男性OAB患者に対するベタニスの臨床試験データや過活動膀胱診療ガイドラインでの位置づけを紹介し、前立腺肥大症合併患者にOAB治療薬を併用する際のベタニス処方を提案します。

※下部尿路閉塞疾患(前立腺肥大症等)を合併している患者では、それに対する治療(α1遮断薬等)を優先させること。

※Mitsui T, et al Int J Urol.2024.(31)747-754

提供:アステラス製薬株式会社

アステラス製薬株式会社
オンラインカスタマーエンゲージメント部
オンライン MR

1.警告
生殖可能な年齢の患者への本剤の投与はできる限り避けること。動物実験(ラット)で、精巣、前立腺及び子宮の重量低値あるいは萎縮等の生殖系への影響が認められ、高用量では発情休止期の延長、黄体数の減少に伴う着床数及び生存胎児数の減少が認められている。
[電子添文9.4 参照]

2.禁忌(次の患者には投与しないこと)
2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2.2 重篤な心疾患を有する患者[心拍数増加等が報告されており、症状が悪化するおそれがある。]
2.3 妊婦及び妊娠している可能性のある女性[電子添文9.5 参照]
2.4 授乳婦[電子添文9.6 参照]
2.5 重度の肝機能障害患者(Child-Pughスコア10以上)[電子添文9.3.1 参照]
2.6 フレカイニド酢酸塩あるいはプロパフェノン塩酸塩投与中の患者
[電子添文10.1 参照]

慢性
便秘症

便秘症治療のTips
-薬剤Switchという治療戦略-



- POINT 1 多剤併用は患者さんのQOLを低下させる*
- POINT 2 単剤治療で十分な効果を得られる薬剤選択が重要である
- POINT 3 リンゼスは単剤治療に関するデータを有している*

6:01

慢性便秘症*の治療にはリンゼス単剤という選択肢を

※リンゼスの効能又は効果:便秘型過敏性腸症候群、慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く)

本動画では兵庫医科大学 富田教授より、慢性便秘症患者さんへの最適な治療戦略を解説いただきます。特に酸化Mgが効果不十分な場合に「次の一手はどのような選択肢が最適か?」について解説いただいておりますので、本動画内容が先生方の日常診療のお役に立ちますと幸いです。

※1 日本老年医学会編:高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2025,メジカルビュー社,2025.

※2 Aljeaidi MS, et al.: Qual Life Res. 2022; 31: 2663-2671.

※ Yoshihara T, et al.: Neurogastroenterology and Motility. 2024; 36(12): e14938

提供:アステラス製薬株式会社

監修医:
兵庫医科大学 健康医療学 主任教授

富田 寿彦 先生

選択的5α還元酵素阻害作用性α遮断薬治療薬 (ミラベグロン錠)

商品名(商品名)

日本標準品分類番号 87259

Table with columns: 販売名, 承認番号, 販売開始. Rows for 25mg and 50mg.

用法: 室温保存 有効期間: 3年

- 1. 警告
2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)
2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2.2 重度な心臓病を有する患者

- 3. 組成・性状
3.1 組成
3.2 製剤の性状

Table for 3.1 組成 showing active ingredients and additives.

Table for 3.2 製剤の性状 showing appearance, color, and dimensions for 25mg and 50mg tablets.

Table for 3.2 製剤の性状 showing appearance, color, and dimensions for 25mg and 50mg tablets.

- 4. 効能又は効果
5. 効能又は効果に関連する注意
6. 用法及び用量
7. 重要な基本的注意

- 8. 特定の背景を有する患者に関する注意
9. 1.1 心臓病を有する患者
9.1.1 心臓病を有する患者
9.1.2 QT延長又は不整脈の既往歴を有する患者

- 9. 2.1 中等度の肝機能障害のある患者
9.2.1 中等度の肝機能障害のある患者
9.2.2 中等度の肝機能障害のある患者

- 9. 3.1 軽度の肝機能障害のある患者
9.3.1 軽度の肝機能障害のある患者
9.3.2 軽度の肝機能障害のある患者

- 9. 4. 効能又は効果
9.4.1 効能又は効果
9.4.2 効能又は効果

10.2 併用注意(併用に注意すること)

Table for 10.2 併用注意 listing various drugs and their interactions with Mirabegron.

11. 副作用

11.1 重大な副作用

11.1.1 重度の下痢(頻度不明)

11.1.2 血圧の上昇(頻度不明)

11.2 その他の副作用

Table for 11.2 その他の副作用 showing side effects like dizziness, headache, etc.

12. 承認条件

13. 承認条件

14. 適用上の注意

15. 承認条件

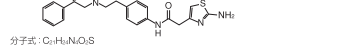
Table for 14. 適用上の注意 showing contraindications and precautions for various conditions.

16. 適用上の注意

17. 適用上の注意

18. 適用上の注意

19. 有効成分に関する化学的性状



分子式: C14H18NO2S

分子量: 254.36

性状: 白色～淡黄色の結晶性粉末

20. 取得上の注意

21. 承認条件

22. 包装

23. 主要文献

24. 承認条件

グリニルシクラーゼC受容体アゴニスト(リナクロド錠) 商品名(商品名)

Table with columns: 販売名, 承認番号, 販売開始. Row for 0.25mg.

用法: 室温保存 有効期間: 3年

- 2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)
2.1 機能的消化管閉塞又はその疑いがある患者
2.2 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

- 3. 組成・性状
3.1 組成

Table for 3.1 組成 showing active ingredients and additives.

Table for 3.2 製剤の性状 showing appearance, color, and dimensions for 0.25mg tablets.

- 4. 効能又は効果
5. 効能又は効果に関連する注意
6. 用法及び用量

- 7. 重要な基本的注意
8. 特定の背景を有する患者に関する注意

- 9. 1.1 心臓病を有する患者
9.1.1 心臓病を有する患者

- 9. 2.1 中等度の肝機能障害のある患者
9.2.1 中等度の肝機能障害のある患者

- 9. 3.1 軽度の肝機能障害のある患者
9.3.1 軽度の肝機能障害のある患者

- 9. 4. 効能又は効果
9.4.1 効能又は効果

- 9. 5. 効能又は効果
9.5.1 効能又は効果

- 9. 6. 用法及び用量
9.6.1 用法及び用量

- 9. 7. 重要な基本的注意
9.7.1 重要な基本的注意

- 9. 8. 特定の背景を有する患者に関する注意
9.8.1 特定の背景を有する患者

- 9. 9. 副作用
9.9.1 副作用

- 9. 10. 承認条件
9.10.1 承認条件

- 9. 11. 承認条件
9.11.1 承認条件

- 9. 12. 承認条件
9.12.1 承認条件

日本標準品分類番号 87239

Table with columns: 販売名, 承認番号, 販売開始. Row for 0.25mg.

用法: 室温保存 有効期間: 3年

- 2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)
2.1 機能的消化管閉塞又はその疑いがある患者
2.2 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

- 3. 組成・性状
3.1 組成

Table for 3.1 組成 showing active ingredients and additives.

Table for 3.2 製剤の性状 showing appearance, color, and dimensions for 0.25mg tablets.

- 4. 効能又は効果
5. 効能又は効果に関連する注意
6. 用法及び用量

- 7. 重要な基本的注意
8. 特定の背景を有する患者に関する注意

- 9. 1.1 心臓病を有する患者
9.1.1 心臓病を有する患者

- 9. 2.1 中等度の肝機能障害のある患者
9.2.1 中等度の肝機能障害のある患者

- 9. 3.1 軽度の肝機能障害のある患者
9.3.1 軽度の肝機能障害のある患者

- 9. 4. 効能又は効果
9.4.1 効能又は効果

- 9. 5. 効能又は効果
9.5.1 効能又は効果

- 9. 6. 用法及び用量
9.6.1 用法及び用量

- 9. 7. 重要な基本的注意
9.7.1 重要な基本的注意

- 9. 8. 特定の背景を有する患者に関する注意
9.8.1 特定の背景を有する患者

- 9. 9. 副作用
9.9.1 副作用

- 9. 10. 承認条件
9.10.1 承認条件

- 9. 11. 承認条件
9.11.1 承認条件

- 9. 12. 承認条件
9.12.1 承認条件

製造販売 アステラス製薬株式会社



(2025年3月作成 P-K)

LN202-D01-01-K

LN211024201